

子ども・子育て支援事業計画（素案）に係る 市民意見の聴取について（結果公表）（案）

子ども・子育て支援事業計画（素案）に係る市民意見の聴取について、市民の皆さまからご意見をいただき、ありがとうございました。お寄せいただきましたご意見と、ご意見に対する枚方市子ども・子育て審議会の考え方を以下のとおり公表します。

意見募集期間	平成26年10月22日から平成26年11月12日まで
意見提出者数	個人 14名 団体 1団体
公表意見数	21件 ※1枚の意見提出用紙に複数の意見を記入されている場合は、意見ごとに1件としています。

【計画（素案）に係るご意見について】

	ご意見の要旨	件数	審議会の考え方
1	＜計画全体について＞ ・公的役割を後退させず、子育て支援を充実させていくような計画にするべきである。	1	本計画（案）については、家庭・行政・学校園・地域・事業者など社会全体が実現主体として、それぞれの役割を果たすとともに、相互に連携・協力しながら、子育て支援に取り組むとする考えです。 また、保育の提供については、従来から公私協調によるサービスの提供を基本としており、今後も同様に子育て支援を充実していく必要があると考えます。
2	＜計画全体について＞ ・理解しづらい点があるので、市の施策の意図が伝わるように補足した記載にしてほしい。	1	本計画（案）については語句説明を挿入するなどできる限り、分かりやすい計画となるよう努める必要があると考えます。
3	＜目標事業量について＞ ・教育・保育の確保方策について、施設ごとに何人の児童を受け入れるか明記してほしい。	2	本計画（案）では、子ども・子育て支援法及び国の基本指針に基づき、教育・保育提供区域ごとに目標事業量を定めています。 また、枚方市のホームページや「枚方市保育所（園）入所の手引き」、ひらかた「子育て応援ナビ」、広報において、各保育所（園）等

			の定員を公表されており、引き続き市民への周知に向け、努めていく必要があると考えます。
4	<p><目標事業量について></p> <p>・今後の保育需要は少子化によって減少すると読み取れるが、保育需要の減少を前提として施策を構築するのではなく、市の発展に至る長期的なビジョンを持って、現在のニーズに最大限対応するものにしてほしい。</p>	1	<p>枚方市における就学前児童数については、減少している中で、本計画（案）における今後の保育需要については、国の基本指針や手引き書に基づき、平成 25 年度に実施しましたニーズ調査結果と現在策定中の総合計画における人口推計を基に、市の実状や国が保育需要のピークとしている平成 29 年度まで保育需要が続くとの考えを踏まえて、作成しています。</p>
5	<p><目標事業量について></p> <p>・少子化対策、子どもの自主性や社会性を育むためにも、施策目標にきょうだいの数を増やすことを明記してほしい。</p>	1	<p>子ども・子育て支援法及び国の基本指針に基づき、目標事業量を定めています。</p> <p>また、子どもの自主性や社会性を育むため、子どもの個性や創造性を育む環境の整備を施策目標として掲げ、様々な取り組みの実施を検討していく必要があると考えます。</p>
6	<p><第 2 章 3. (3) 幼稚園の状況></p> <p>・公立幼稚園の在籍率の推移をみると年々低下しているが、その原因をどう分析しているのか。公立幼稚園でも、私立幼稚園で行われている一時預かり事業を実施するべきである。</p>	1	<p>在園率の低下の原因については、市内の幼児人口の減少や社会経済状況の変化の中で、保護者の就労の割合が高くなっていることに加え、3 年保育へのニーズが高いことがあげられると思います。そうした中で、国の新制度に示されている「一時預かり事業」、いわゆる「預かり保育」については、公立幼稚園の充実策である新たな取組として、平成 27 年度からの実施に向け、検討する必要があると考えます。</p>

7	<p><第2章4.(6) 留守家庭児童会室の利用について></p> <ul style="list-style-type: none"> 留守家庭児童会室の土日祝日の利用希望が約4割あるのに、放課後児童対策の充実では触れられていない。留守家庭児童会室の休日実施について、審議会でも議論すべきである。また、6年生までの利用拡大の実施が遅れる理由を明らかにして、早急に実施してほしい。障害のある児童が市内4箇所以外でも、引き続き同じ児童会室へ通えるようにしてほしい。 	2	<p>留守家庭児童会室の開室日については、ニーズ調査における土曜日の過ごし方の結果や、土曜日の臨時開室の利用状況実績等を踏まえて、5・6年生の受入れについては、施設や人材等の受入れ体制を整え、段階的に拡大する必要があると考えますが、できる限り早期の実施を望みます。</p> <p>また、障害のある5・6年生の受入れについても、対象学年の拡大時期とあわせ、全児童会室で行う必要があると考えます。</p>
8	<p><第5章II-5-(1) 多様な保育サービスの充実></p> <ul style="list-style-type: none"> 定員増ではなく、認可保育所の数を増やしてほしい。 	5	<p>待機児童対策は、本計画（案）においては、認可保育所及び幼保連携型認定こども園による定員増を基本としています。なお、小規模保育事業C型及び家庭的保育事業には課題整理が必要であると考えています。</p>
	5	<ul style="list-style-type: none"> 小規模保育事業C型は実施しないでほしい。 	
	1	<ul style="list-style-type: none"> 家庭的保育事業は実施しないでほしい。 	
9	<p><第5章II-5-(2) ②保育料の軽減・施設の有効活用></p> <ul style="list-style-type: none"> 保育所（園）や留守家庭児童会室の保育料の引き上げをしないでほしい。 	1	<p>枚方市の保育料については、国の基準額の60%程度で、大阪府内市町村平均70%と比較してもかなり低く抑えられています。なお、平成27年度からの保育料については、同年4月より施行が予定される子ども・子育て支援新制度へ円滑な移行ができるよう、可能な限り現行水準を維持するように設定されています。</p> <p>しかし、少子高齢化の進行や不安定な経済社会情勢による税収の落ち込みが予想される中、保育や子育て支援等に必要な財源の確保を図るため、国の動向、他市の状況を注視するとともに、社会経済状況の推移や市の財政状況</p>

		<p>を踏まえ、見直しを検討する必要がありますと考えます。</p> <p>留守家庭児童会室の保育料については、当面の措置として平成26年度より軽減を図っているところですが、保育所保育料の動向にあわせて、検討する必要がありますと考えます。</p>
--	--	--

<参考>

【今後の具体的な取組内容に係るご意見について】

- ・公立幼稚園で3年保育を実施してほしい。(5件)
- ・「公立保育所の民営化や統合などにより保育所配置の効果的、効率的な再構築を検討します」に不安を感じている。障害のある子どもの受け入れについて、公立・私立の保育所で差が生じないように体制整備してほしい。(1件)
- ・公私立保育所(園)合同研修会の推進について、職員の質向上への効果を期待しているが、第三者評価を取り入れ、市のホームページで結果一覧を公表してほしい。(1件)
- ・小学校教育を見通した保育課程、教育課程の編成に努め、発達や学びの連続性を踏まえた保育・教育の具体的な内容を公表してほしい。英語やリズムミック、体操やプール体験などの身体的訓練も含まれるのか。(1件)
- ・保育所(園)・幼稚園・認定こども園・小学校交流会、合同研究会の様子を市のホームページに記載してほしい。(1件)
- ・学生と乳幼児のふれあいの機会提供を地域子育て支援センターでも行ってほしい。(1件)
- ・放課後自習教室事業について、もっと情報発信してほしい。(1件)
- ・現在の母親の調理環境や家庭環境に合わせた離乳食講習会を実施してほしい。(1件)
- ・中学校給食の提供開始は評価するが、保育園では「主食費徴収」「白飯持参」に分かれているが、主食費を助成し、完全給食に統一してほしい。(2件)
- ・図書館の蔵書システムのネットワーク利用の対象を乳幼児を含む全市民に拡大してほしい。(1件)
- ・里帰り出産時に保育所(園)を休園する場合の保育料や、休園期間について見直してほしい。(1件)
- ・「支援を必要としている母子を対象とした産後の支援の仕組みづくりに取り組み」の具体的な内容を教えてほしい。(1件)
- ・妊婦健康診査の助成額を上げてほしい。(1件)
- ・妊婦検診や乳幼児健診の際、サポートを求めた人にはもっとケアをしてほしい。(1件)
- ・1歳児の健康診査も親の任意受診ではなく、市の施設で実施してほしい。また、保健センターの立地が不便であるため、生涯学習市民センターなどで行ってほしい。(1件)
- ・子どもの医療費助成制度の対象拡大は評価するが、中学生まで拡大してほしい。(1件)

- ・ファミリーポートひらかた、サブリ村野、教育文化センターの3ヶ所は利用しづらい場所にあるので、利用率向上のために送迎車の用意などの対策を講じてほしい。(1件)
- ・地域子育て支援拠点の開設時間を統一してほしい。(1件)
- ・保育所の地域支援を充実させてほしい。(2件)
- ・一時預かり事業について、希望者が多く利用が難しい場合もあるので、新制度の中で利用促進を図ってほしい。(1件)
- ・子育て環境を整備する上では、インターネットや SNS 利用による情報共有や交流の観点を盛り込んでほしい。(1件)
- ・市のホームページにおけるイベントカレンダーについて、利用しやすいようにサイトの構成や検索エンジンを見直してほしい。(1件)
- ・子育てに関する各種パンフレットの配布について、インターネットでも同じ内容を検索できるようにしてほしい。(1件)
- ・ファミリー・サポート・センター事業の充実のために、提供会員講座の土日開講や、利用料の助成を行ってほしい。また、ファミリーサポートに全面委託ではなく、市としての取り組みを行ってほしい。(1件)
- ・病児・病後児保育について、実施箇所を増やし、開設時間を保育所(園)の早朝・延長保育と合わせてほしい。また、病時保育の周知を図り、駅の近くに設置してほしい。(1件)
- ・留守家庭児童会室の対象学年を6年生まで拡大することは評価するが、開設時間を保育所(園)の早朝・延長保育と合わせてほしい。(1件)

【新制度に係るご意見について】

- ・保育は有資格者で行ってほしい。(5件)
- ・保育所入所の際の兄弟姉妹優先枠を設けてほしい。(2件)
- ・保育士有資格者の割合など、小規模保育事業について保育所(園)と基準を同じにほしい。(1件)
- ・保育所選考基準の改正について、最終決定前に案をホームページで公表し、市民の意見を取り入れてほしい。(1件)
- ・保育所分園と本園は、交通事故リスクや災害時のことを考慮に入れた理解できる距離にしてほしい。(1件)
- ・保育所選考基準の改正について、復職時の経年減点をなくすこと、他市と比較して選考項目数や点数の幅を見直してほしい。(1件)
- ・保育所入所の際に、年度当初か年度途中かで点数が異なる場所を見直してほしい。(1件)
- ・市の利用調整の必要が無いのかどうか確認してほしい。(1件)
- ・新制度における短時間・長時間利用での保育料の違いや、短時間利用者の8時間を越える利用について教えてほしい。(1件)
- ・認定こども園の保育内容が分からないので、もっと具体的に周知してほしい。(1件)
- ・保育所(園)、認定こども園を利用できず、仕事の復帰も難しい状況である。(1件)
- ・子育て家庭に配慮した設備の充実の推進については評価するが、楠葉生涯学習市民センター前の床材が滑って危険なため、見直してほしい。(1件)